理 事 会 資 料
令和５年９月４日

全国健康福祉祭ダンススポーツ親睦大会（ねんりんピック）に係る事務処理等の見直しについて

選手選考会の開催やねんりんピックに係る事務処理については、JDSF秋田が主体となって行っているが、選考会参加資格や社会福祉協議会との連絡調整等に不明確な事項があるため、明確にする必要がある。

以下に現状と課題・問題点、見直し案を列挙する。

項目	現状	課題・問題点	見直し案
選考会	当概年の前期秋田県DS大会で選考	社協への大会申込期日に間に合わず、その後の対応が後手となっている	前年度後期秋田県DS大会で選考し、社協との事務等を参加者主体に改め、円滑な事務執行を図る。
選考戦出場条件	秋田県在住の選手で昭和39年4月1日以前に生まれた男女	選手の表現があいまいであり、明確な表現にする必要がある。	選手を秋田県JDSF登録選手に改める。
選考会エントリー料	2,000円	一般戦4,500円と比較し安価すぎないか。	東北６県と情報交換し、方向をさぐる。
大会参加申し込み	ＪＤＳＦ秋田が代行して申し込み	本来、出場選手が行うべきだが、時間的余裕がなく、代行してる。	選考会を前年度に実施にし、選手代表者（監督）が行う。
宿泊申し込み	ＪＤＳＦ秋田が代行して申し込み	同上	同上
大会参加費の納入	ＪＤＳＦ秋田が代行して申し込み	・JDSFで立て替え納付後参加者から徴収（支援金から相殺している） ・振込手数料をJDSFが負担	同上
社協からの助成金	ＪＤＳＦ秋田の口座に振込後、選手ごとに交付	事務手続き（金銭の交付と領収印をもらう）のための連絡や社協への連絡や書類提出に時間と手間を要する	同上

社協からの事務連絡	ＪＤＳＦ秋田で受けて選手に伝達	疑問点や選手からの問い合わせ事項を、社協に確認し選手に伝達。間違った解釈される場合がある。	連絡者を選手代表者（監督）に改め、情報伝達をダイレクトにする。

結論

今後、JDSF秋田は①選考会の開催、②スポーツ協会の助成金申請事務と選手への当該助成金の交付、③ユニフォームの貸付関係事務、④壮行会の開催⑤支援金の交付⑥出場者決定後の選手への事前説明（出場までの流れの概要、留意事項等・・説明資料は後日作成する。）以外は基本的に行わないこととし、出場者決定後は、出場者が主体となって社協や旅行会社等と連絡を密にして出場準備を進めることとしたい。

メ　モ